

仕様一覧

CDプレーヤー部

レーザー	GaAlAs (ダブルヘテロダイオード、 $\lambda=780\text{ nm}$)
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	500 ~ 200 rpm (線速度一定)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	5 Hz ~ 20 kHz ($\pm 1\text{ dB}$)
高周波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比 (dB)	94 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	94 dB
チャンネルセパレーション	85 dB

電源部

電源電圧	14.4 V (11~16 V)
最大消費電流	0.8 A

寸法・質量

埋込寸法 (W×H×D)	180×50×145 mm
質量 (重さ)	1.3 kg

付属部品

トラスネジ (M5×6 mm)	4本
サラネジ (M5×7 mm)	4本
セムスネジ (M4×8 mm)	1本
スピーカー入力コード	1本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、サポートセンターをご利用ください。
サポートセンター (東京) 電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
(大阪) 電話(06)6394-8085 〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22
受付時間 9:00~18:00 (土、日、祝祭日および当社休日には休ませていただきます)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

KENWOOD

CDプレーヤー

RD-380

取扱説明書



お買い上げいただきましてありがとうございました。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド KENWOOD CORPORATION
© B64-1956-00 (JW)

使用上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

警告



禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



実施

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



実施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



実施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



注意

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



禁止

ディスプレイが表示されない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



実施

万一、＜異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど＞異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ず＜お買い上げの販売店＞にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



実施

運転者が各種設定や調整などの操作をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。



禁止

製品を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。



実施

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。

注意



注意

ディスク挿入口に指を入れしないでください。怪我をすることがあります。



実施

カーオーディオ製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のため＜お買い上げの販売店＞にご依頼ください。



禁止

ガラス部品を使用している製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。割れてけがをするおそれがあります。



禁止

本製品内に水や異物を入れしないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



禁止

本製品を車載用として以外の用途では使用しないでください。

使用上のご注意

本機を接続できるセンターユニットについて

センターユニット（カセットレシーバー、CDレシーバーなど）がO-Nスイッチの“N”に対応している場合は、本機のO-Nスイッチを“N”にしてください。詳しくはセンターユニットの取扱説明書をご参照ください。

1994年以前に発売されたセンターユニットに本機を接続するときは、別売品の変換ケーブル“CA-SD200”が必要です。詳しくはカタログを参照ください。

なお、TV-FM/AMレシーバー“KRV-X9”に本機を接続することはできません。接続すると破損の原因となります。

本機にディスクネームプリセットで登録できる文字数/枚数は、12文字/40枚までです。

（センターユニットにより、登録できる文字数、枚数が異なる場合や操作できない場合があります。）

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

セットの異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まずHelp?を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、センターユニットのリセットボタンをペン先などで押してください。

センターユニットのリセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてCDの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。

結露について

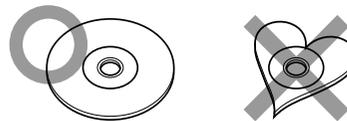
寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではCDの読み取りができなくなります。

このようなときは、CDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

記録面（レーベル面の反対側）にマークの付いていないCDは使用しないでください。

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

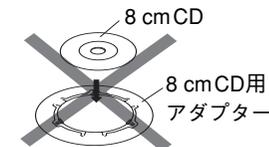
レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

CD用アクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



CDの取り扱い

CDの取り扱いについて

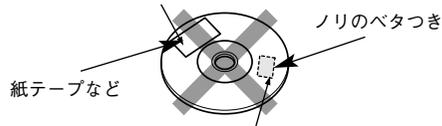
CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です。)



CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱いので、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。

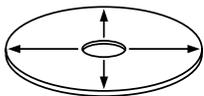
CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障することがあります。



CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



CDの保存

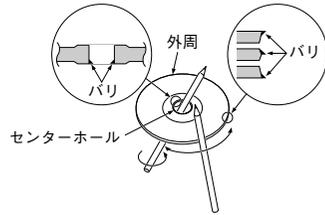
直射日光が当たる場所(シートやダッシュボードの上)など、温度が高い場所には置かないでください。特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。

キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

新しいCDを使うときは

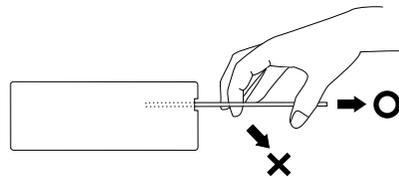
新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、CDが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷を付ける原因となります。



必ずお読みください

保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「Help ?」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去される場合があります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

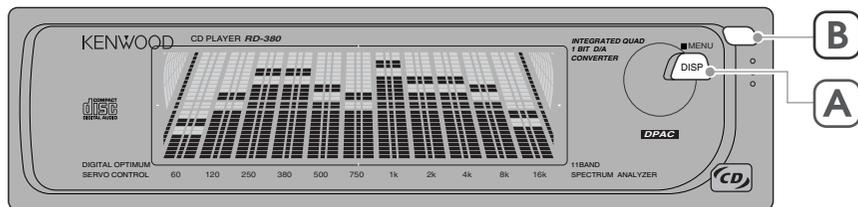
- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。(本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料:故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代:修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

操作方法



センターユニットによる動作の違いについて

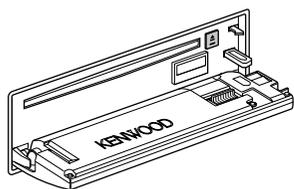
接続しているセンターユニットに合わせて、本機背面のO-Nスイッチを“N”または“O”に設定します。“N”に設定している場合と“O”に設定している場合では、操作や動作が異なります。

O-Nスイッチの設定については“接続・取り付けのしかた”をご覧ください。

CDローディング

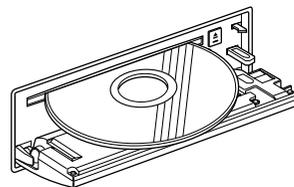
CDを挿入します。

1 操作パネルを開く



2 CDを挿入する

CDのレーベル面を上にしてCD口に差し込みます。



3 操作パネルを閉じる

操作パネルがロックするまで閉じます。

“N”に設定するセンターユニットに接続している場合

CDプレイ

CDを演奏します。

CDが入っていないとき

CDのレーベル面を上にして、CD口に差し込みます。本機のCD演奏に切り替わります。

CDが入っているとき

センターユニットのSRCボタンを“CD”と表示されるまで押します。

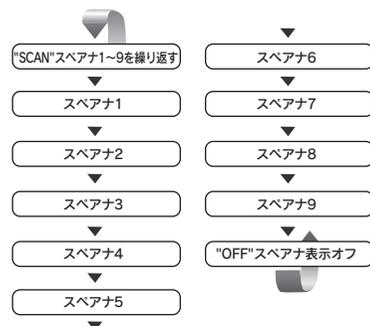
センターユニットがCDレーザーの場合は“CD2”と表示されるまで押します。

スペクトラムアナライザー

スペアナ表示を切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



スペアナレベルアジャスト

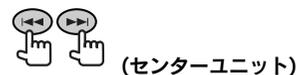
スペアナの表示レベルを調整します。

1 本機でCDを演奏する

2 レベル調整モードにする



3 レベルを調整する



(センターユニット)

▶▶ボタンを押すと表示レベルが大きくなり、◀◀ボタンを押すと表示レベルが小さくなります。

4 レベル調整モードを終了する



スペアナの表示レベルはセンターユニットの音量により異なります。

ディスクネームプリセットについて

本機でディスクネームを登録できる文字数/ディスクの枚数は、12文字/40枚までです。

本機および接続しているユニットでディスクネームを登録したCDが表示できます。

接続しているセンターユニットにより登録できる文字数やディスク枚数が変わったり、登録操作ができない場合があります。

“O”に設定するセンターユニットに接続している場合

CDプレイ

CDを演奏します。

CDが入っていないとき

CDのレーベル面を上にして、CD口に差し込んで、センターユニットのSRCボタンを“DISC”と表示されるまで押します。

CDが入っているとき

センターユニットのSRCボタンを“DISC”と表示されるまで押します。

別売品のスイッチングユニットを使用してディスクチェンジャーも接続している場合は、本機が接続されている“DISC-1”または“DISC-2”と表示されるまで押します。

O-Nスイッチを“O”にすると本機をCDチェンジャーとして認識しますが、ディスクサーチやディスクリピート、ディスク切り替えなどの操作はできません。また、センターユニットのソースモードをCDチェンジャー以外にすると、本機の電源はオフになります。

スペクトラムアナライザー

スペアナ表示を切り替えます。

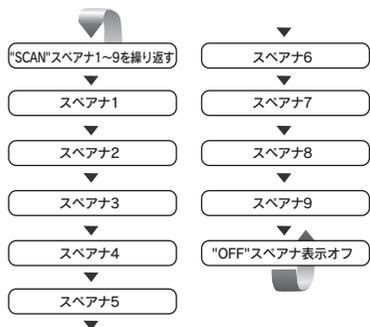
1 本機でCDを演奏する

2 スペアナ表示を切り替える



押すたびに次の順で切り替わります。

に接続している場合



● スペクトラムアナライザーは、本機でCDを演奏中のみ表示されます。

スピーカーレベルアジャスト

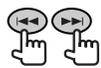
スピーカーの表示レベルを調整します。

1 本機でCDを演奏する

2 レベル調整モードにする



3 レベルを調整する



(センターユニット)

▶▶ボタンを押すと表示レベルが大きくなり、◀◀ボタンを押すと表示レベルが小さくなります。

4 レベル調整モードを終了する



● スピーカーの表示レベルはセンターユニットの音量により異なります。

ディスクネームプリセットについて

本機でディスクネームを登録できる文字数/ディスクの枚数は、12文字/40枚までです。

入力できる文字種は、“A~Z ,0~9/,+,-,*,=,<,>[,]”です。

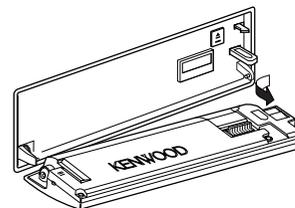
本機で再生してディスクネームを登録したCDのみ表示できます。

● ディスクネームプリセットで登録可能な文字数/枚数は、12文字/40枚までです。(センターユニットにより登録できる文字数や枚数が異なる場合や、操作できない場合があります。)

パネル脱着のしかた

パネルの外し方

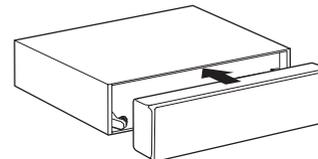
パネルをオープンして、パネルを左に押しながら手前に引くとパネルが外れます。



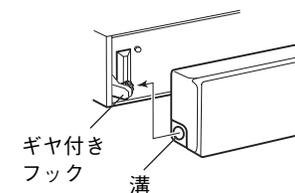
● センターユニットの電源がオンの場合は、パネルを取り外しても、本機の内部の電源はオフしません。

パネルの取り付けかた

パネルをディスプレイ部が手前になるように持ち、ロックされるまで押します。

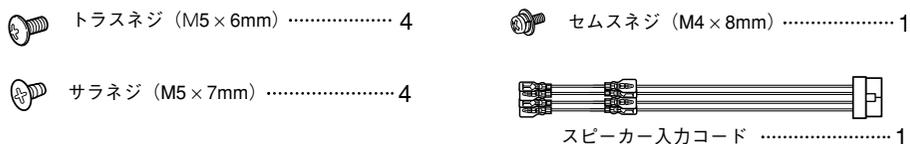


● パネルが取り付けにくいときは、パネルの溝をギヤが付いているフックの軸に合わせてから、パネルを押ししてください。



接続

● 付属部品



● 取り付け手順

! 初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

実施

1. エンジンキーを抜きます。
2. センターユニットがO-Nスイッチの“N”に対応しているか確認します。
“N”に対応している場合は、O-Nスイッチを“N”にします。
“N”に対応していない場合は、O-Nスイッチを“O”にします。
3. コントロールケーブルをセンターユニットのコントロール端子に接続します。
4. スピーカー入力コードをセンターユニットの電源ハーネスのフロントスピーカー出力コードに接続します。
5. センターユニットのリセットボタンを押します。

O-Nスイッチの設定

接続するセンターユニットにより、O-Nスイッチの設定が必要です。



● “N” に設定するセンターユニット

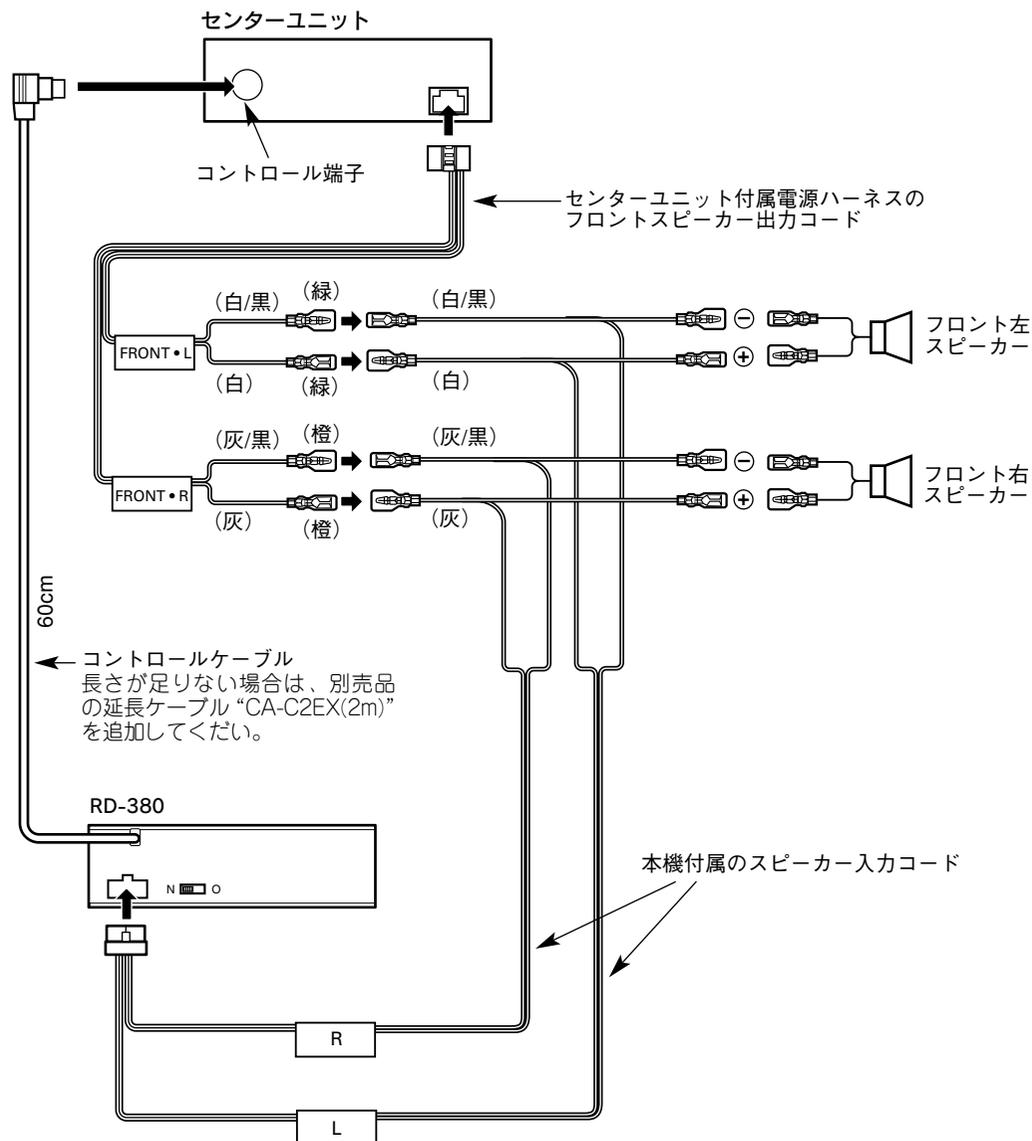
RX-380, RX-580CD, RX-780MD, RX-680MD, RX-370, RX-570CD, RX-770MD, RX-670MD, RX-360, RX-450, RR-500E, RX-760MD, RX-750MD, RX-650MD, RX-560CDなど、取扱説明書にO-Nスイッチの設定が“N”と記載されている製品。

● “O” に設定するセンターユニット

RX-350, RX-340, RX-330, RX-D540, CR-F900, CR-F700, CR-F500, DR-F900など、取扱説明書にO-Nスイッチの設定が“O”と記載されている製品や1997年以前に発売された製品（取扱説明書にO-Nスイッチの設定に関する記述が無いもの）。

注意

- “O” に設定するセンターユニットと接続しているのに、本機のO-Nスイッチを“N”に設定すると本機の操作ができません。
- チェンジャースイッチングユニットを使用する場合、“KCA-S210A”はユニットに付属の取扱説明書をご覧ください。“KCA-S200”はO-Nスイッチを“O”に設定してください。
- 取付後は必ずセンターユニットのリセットボタンを押してください。
- センターユニットの電源が入ったままコントロールケーブルを接続しないでください。



注意

本機付属のスピーカー入力コードとセンターユニットのスピーカーコードを接続する際は、右左のコードごとに正しく接続してください。(接続したコードどうしの色が合っていることを確認してください。) 正しく接続を行わないとスピーア表示機能が動作しません。

取り付け

付属のネジ (M5×6mm、M5×7mm) 4本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

- 別売品の取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付けの車種に応じて用意されています。くわしくはカタログをご覧ください。

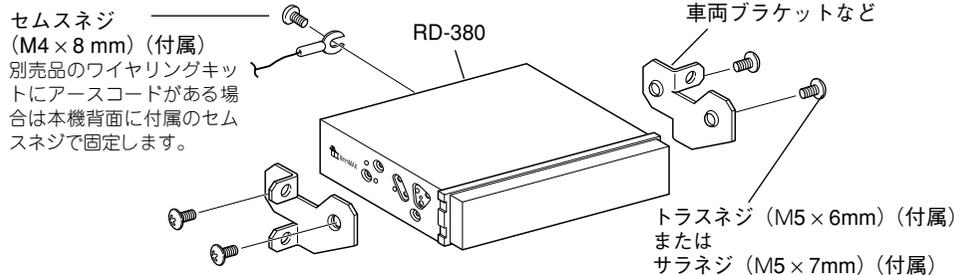
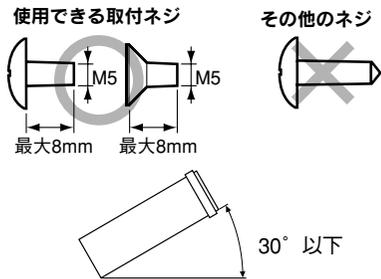


注意

●取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。

- 本機の取付角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。



Help ?

電源がオンにならない

センターユニットの電源ハーネス類が接続されていない。

センターユニットの電源ハーネス類を接続してください。

CDモードにならない

- コントロールケーブルが接続されていない。
- センターユニットがO-Nスイッチの“N”に対応していない。
- CDが入っていない。

- コントロールケーブルを接続してください。
- 本機のO-Nスイッチを“O”に設定してから、センターユニットで<ディスクチェンジャー>を選択してください。
- 1999年発売以降のセンターユニットではCDが入っていないと、CDモードは選択できません。

CDの表示はプレイになっているが音がでない

- センターユニットの音量が最小になっている。
- マイコンが誤動作している。

- センターユニットの音量を適度に上げてください。
- センターユニットのリセットボタンを押してください。

Help ?

操作スイッチを押しても動作しない

マイコンが誤動作している。

センターユニットのリセットボタンを押してください。

スペアナが表示しない

- スピーカー入力コードが接続されていない。
- フェダーの調整がリア側になっている。
- スペアナ表示レベルの調整レベルが小さい方に設定されている。
- 音量が小さい。
- O-Nスイッチを“O”に設定して、本機以外のソースを聴いている。

- “接続・取り付けのしかた”を見て接続してください。
- センターユニットのフェダー調整をセンターにしてください。
- 調整レベルを大きい方に設定してください。
- 音量を上げるか、スペアナ調整レベルを大きい方に設定してください。
- O-Nスイッチを“O”に設定した場合は、本機のCDを演奏しているモード以外のソースではスペアナ表示されません。

CDが入らない

すでにCDが入っている。

すでに入っているCDを取り出してから入れてください。

CDを入れてもすぐ出てしまふ

- CDが裏返しになっている。
- CDが異常に汚れている。
- 結露している。

- ラベル面を上にして入れ直してください。
- “CDのお手入れ”を見てクリーニングしてみてください。
- しばらく、放置してから使用してください。

音質が悪い

- 音量が大きすぎる。
- CD自身の音質。
- CDに傷や汚れなどが付いている。

- 適正音量で使用してください。
- 他のCDを再生して問題がなければCD自身の音質です。
- “CDのお手入れ”を見てクリーニングしてみてください。

CDの音が飛んでしまふ

- 取り付け角度が、30°を越えている。
- 取り付けが不安定になっている。
- CDに傷や汚れなどが付いている。

- 30°以内の角度に調整してください。
- しっかりと固定してください。
- 停車しても同じ部分で音が飛ぶときは、CDの問題です。“CDのお手入れ”を見てクリーニングしてみてください。

選曲動作をしても目的の曲にならない。

ランダムプレイモードになっている

センターユニットでランダムプレイモードを解除してください。

以下の表示でセンターユニットに本機の状態をお知らせします。

- E-01/EJECT :** CDが入っていない。
- E-04 :** CDが異常に汚れている。CDが裏返しになっている。CDにキズが多く付いている。
- E-99 :** 何らかの原因で正常に動作していない。
☞ センターユニットのリセットボタンを押してください。それでも“E-99”表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。
- E-0d/HOLD :** 温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。この場合にこの表示が出ます。
☞ 取り付け場所の温度を下げれば、しばらくのちに表示は消えます。

お使いのセンターユニットにより、表示が異なる場合があります。詳しくはセンターユニットの取扱説明書をご覧ください。